

# いのちの言葉 1月

2023年1月

## 「善を行い、正義を追い求めなさい」

(イザヤ1・17参照)。

今月のみ言葉は、預言者イザヤの第1章から取られています。このみ言葉は、1月18日から25日の間、北半球で祝われる「キリスト教一致祈禱週間」のために選ばれました。今回、米国ミネソタ州<sup>1</sup>のキリスト者の方々が準備してくださいましたが、正義という、たいへん差し迫ったテーマが取りあげられています。事実、平和と一致の文化を思うように証しすることができない社会にあって、不平等や暴力、偏見がいつそう拡散しています。

とはいえ、預言者イザヤが生きていた時代も、今とそう変わりませんでした。戦争や反乱、富の追求、権力争い、偶像崇拜、貧しい人々を虐げ、排斥するなど、こうした世相にあってイスラエルの民は歩むべき道を見失っていました。イザヤは、非常に厳しい言葉で、そのような民を回心の道へと引き戻そうとし、神がアブラハムと結ばれた契約に立ち帰るための道を、民にはっきりと指し示しました。

## 善を行い、正義を追い求めなさい。

ところで「善を行うのを学ぶ」とはどういう意味でしょう。学ぶためには、私たちの心が外に開かれていること、また、なすべき努力も要ります。毎日、理解すべきこと、向上すべきことはいつもあります。そして何か間違っただとしても、私たちはいつでも、もう一度やり直すことができます。

では「正義を求める」とはどういうことでしょうか？ 正義は、様々なことを行う上で私たちが望むべきもの、そして、目指すべき「宝」といえます。また正義は善を行う助けとなり、神のみ旨が何であるかを、よりいつそう私たちに分からせてくれるものです。なぜなら神のみ旨こそが、私たちの善だからです。

イザヤは、具体的な例を挙げています。神が最もいつく慈しまれるのは、無力で抑圧された人々、身寄りのない子供、そして、やもめである、と。彼らは最も無防備な存在なので、神はご自分の民に対して、このような自分の権利を主張できない人々に、手を差し伸べるよう求められます。そして、宗教的な儀式や捧げもの、また祈りであっても、善い行いと正義の実践が伴わないのであれば、神は、それらを決して喜ばれることはない、と。

## 善を行い、正義を追い求めなさい。

今月のみ言葉は、他の人々、特に困っている人を具体的に助けるよう促し、私たちの回心の歩みに求められるのは、苦しんでいる人に対して、心、思い、そして腕を大きく広げることだと教えています。

「正義を望み、正義を探し求めることは、人の良心に刻み込まれています。神ご自身が人の心にそれを植え付けられたからです。歴史の中で多くの進歩や発展があったにせよ、神のご計画

の完全な実現には何とほど遠いことでしょうか！ 今日もなお、戦争やテロ、民族紛争が絶えまなく続いています。これらはすべて、社会経済の不均衡、不正、憎悪の表れと言えるでしょう。

…あるいは、愛や相手に対する敬意・心遣いがなくとも正しい関係を築けるかもしれません。しかし、このような関係はいずれ形式的で事務的なものとなり、相手にとって何が本当に必要であるかを分かるまでには至らないでしょう。愛がなければ、真の正義は決してあり得ず、裕福な人と貧しい人との富の分かち合いも生まれてはこないでしょうし、一人ひとりの尊さを真に理解し彼らが置かれている状況を察することもできないでしょう。」<sup>2</sup>

### 善を行い、正義を追い求めなさい。

一致した世界のために生きるとは、人類の傷を何らかの形で自身の背に負い、人類家族を築くために自分にできる小さな行いをすることにあるのかもしれませんが。

ある日のこと、アルゼンチン出身の Jさんは、以前自分が教鞭をとっていたある研究所の所長だった人と道でばったり会いました。この上司は、Jさんをささいな口実で解雇した人で、Jさんに気づくと道をそれようとしていましたが、Jさんは彼に追いつきました。近況を尋ねると、彼は今別の町に住んでいて求職中だが、仕事が見つからず苦しい時期にあるとのことでした。Jさんは彼を助けることを申し出、翌日、知人たちに職探しのニュースを流すと、すぐ返事がありました。Jさんから新しい仕事の知らせを受けて、彼は一瞬自分の耳を疑いました！ 自分が解雇した人なのに、ここまで親身になって自分を心にかけて、助けてくれたことに深く感謝し、感動していました。

そしてちょうどそのころ、Jさんにも「100倍の報い」がありました。大学に入学して以来ずっとこれまで自分が望んでいた2つの仕事がJさんに提供されたからです。具体的でタイムリーな神さまの愛の計らいにJさんはとても驚き、感動せずにはいられませんでした。<sup>3</sup>

### 善を行い、正義を追い求めなさい。

パトリツィア・マツォーラ と  
いのちの言葉編集チーム

いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

## 「いのちの言葉」の集い

毎月、各地では、み言葉を読んでそれを生きた経験の分かち合いを行っています。  
どなたでも、ご参加できます。

尚、「いのちの言葉オンライン」も毎月行われています。今月の15日（日）に、「キリスト教一致祈禱週間」に向かって、ご一緒に準備したいと思います。

ご興味のある方、下記のメールアドレスにご連絡ください。

連絡先：フォコラーレ

東京：03-3330-5619/03-5370-6424 メール：[tokyofocfem@gmail.com](mailto:tokyofocfem@gmail.com)

長崎：095-849-3812 メール：[foc.nagasaki@mx.cncm.ne.jp](mailto:foc.nagasaki@mx.cncm.ne.jp)

ホームページ：[www.focolare.org/japan](http://www.focolare.org/japan)



1 2020年のジョージ・フロイドさんの死（白人警官に殺された黒人男性）をきっかけにミネソタ州には、あらゆる形態の人種差別を撤廃するための運動が始まりました。  
2 キアラ・ルービック、2006年11月の「いのちの言葉」より抜粋  
3 チッタ・ノーバ誌2022年1月/2月号「今日の福音」からの体験